



市場小だより



学校教育目標「健康で明るく 強く正しく 共に生きぬく子の育成」 特別号

令和4年2月28日 小野市立市場小学校

学校評価の結果について(ご報告)

学校長

桜のつぼみはまだ堅いですが、確実に花開く支度をととのえています。先般、保護者の皆様に本校の教育活動についての評価をいただきました。ご協力いただき、たいへんありがとうございます。ここに結果をまとめましたので紙面にて報告いたします。

令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組みながら教育活動を行ってきた一年間でした。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、新しい生活様式のもと、昨年度よりはできる教育活動が増えた一年ではありました。同時に実施しました児童アンケート・教職員の自己評価と共に概ね肯定的で前向きなご意見をいただいております。少し改善の見られた課題もありますが、継続した課題もあります。皆様のご意見等を参考に、さらなる取り組みを工夫し今後の活動に生かしてまいります。

【アンケート結果について】

※評価 Aそう思う Bどちらかといえばそう思う Cあまりそう思わない Dそう思わない のうち、

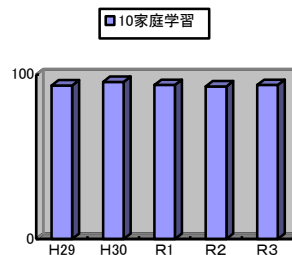
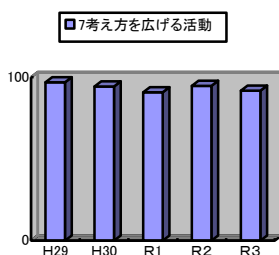
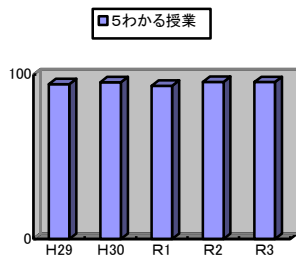
AとBの評価を合計した数値(%)を達成率として表示しています。

【学習について】

※児童アンケートより

アンケート項目	H29	H30	R1	R2	R3
5学習内容は理解できていますか。	94.1	95.3	93.1	95.5	95.4
7(水辺の楽校)夢をかなえる科、外国語活動、辞書引き学習など意欲的に。	96.9	94.3	90.7	94.7	91.7
8修学旅行、自然学校、社会見学、学校行事等の体験活動は楽しいですか。	97.8	98.0	97.9	96.8	97.9
10宿題などの家庭学習は進んでできていますか。	93.3	95.5	93.6	92.8	93.6

○「わかる授業」「考え方を広げる活動」「体験学習」「家庭学習」などに達成感が見られます。辞書引き、夢をかなえる科などの特色ある取り組みが脳科学の知見に基づいて定着し、子どもたちの成長に繋がっています。また外国語活動もこれまでの積み重ねにより、充実した活動が見られます。修学旅行や自然学校、運動会などで日頃学んだことを生かし、ともに学ぶ体験学習・行事としての充実感が見られます。「マイスタノート」での自主的な家庭学習や少人数指導・同室補助、対話的な集団指導を兼ねあわせながら、質問しやすい雰囲気作りや授業改善に取り組み、これからも児童のつまずきの解消や系統性を重視した指導の充実を図っていきます。



【学校生活について】

※児童アンケートより

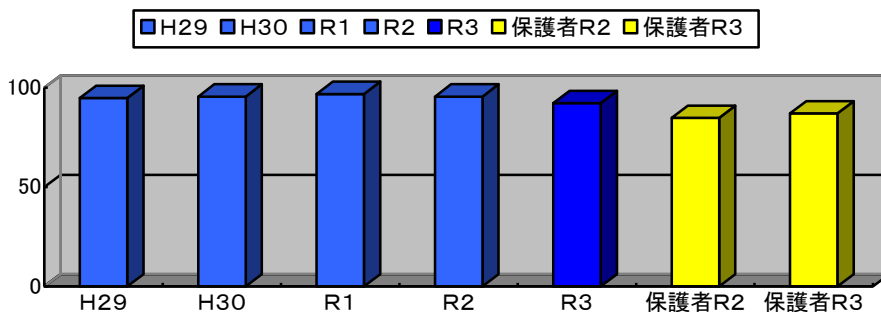
アンケート項目	H29	H30	R1	R2	R3
1 学校生活は楽しいですか。	93.1	94.0	92.3	88.3	94.1
9 わからないことがある時や困った時には先生に伝えてありますか。	85.8	87.8	86.4	91.2	85.3

○「楽しい学校生活」は学校教育目標の「健康で明るく」に直結し活気あふれる集団作りの推進としてめざしているところです。今年度はコロナ禍において制限があっても、日頃の授業をはじめとして、学校行事・学年行事にも取り組みました。相談しやすい関係づくりを心がけ、ふだんの学校生活で、自分だけでなくお互いに楽しいと思える環境作りをめざしていきます。

※児童・保護者アンケートより

アンケート項目	H29	H30	R1	R2	R3	保護者R3
3 あいさつをよくしていますか。	94.8	95.5	96.8	95.5	92.2	87.0

○「自分から」「相手に伝わる声で」「明るく元気に」等を課題として取り組んでいます。特に「自分から」できるようになりました。地域の方々へのあいさつ等、保護者の方からも期待されています。



【人権教育・感染予防・安全教育について】

※児童アンケートより

アンケート項目	H29	H30	R1	R2	R3
12 友だちに優しく思いやりのある行動をしていますか。	94.3	93.8	95.5	94.3	93.1
17 感染予防はできていますか。(検温・消毒・マスク・距離)				93.1	89.6
14 交通ルールや学校のきまりを守り、安全な登下校や学校のくらしができる。	95.7	98.5	97.3	96.0	96.8

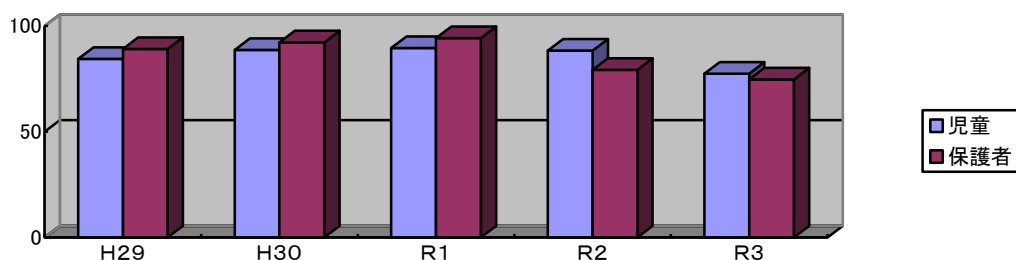
○「人権教育」「感染予防」「安全教育」の意識は高いです。今年度も新型コロナウイルスに関する

正しい知識や生活様式に基づき、差別や偏見を許さない人権教育としても取り組んできました。長期化する中でも気を緩めず、継続して取り組んでいきます。「交通安全」に関しては、大切な命を守る教育活動として重視しているところです。地域見守り隊の方々の協力の下、登校班としての安全意識の向上、下校後の事故の危険性についてもさらに指導していきたいと思ひます。

【情報機器の使用について】

※児童・保護者アンケートより

アンケート項目	H29	H30	R1	R2	R3
㊦16テレビ、ゲームやインターネット等の約束を守っていますか。	84.4	88.6	89.6	88.3	77.4
㊦16子どもはテレビやゲーム、インターネット、スマホ等の約束を守っている。	89.1	92.2	94.2	79.2	74.7



○「情報機器の使用の約束・徹底」については、「家庭でのルールづくり・話し合い」で子ども自身がしっかり考える機会とすることや、「ゲーム・ネット等の使用についての学習」の機会を充実させる取り組みの必要性が増してきています。令和元年度までは「家庭で約束を決めている」かどうかを聞き、昨年度からは「約束を守っている」かどうかを聞いています。「家庭でのルールづくり」は意識できていても、児童自身に「約束が守られていない状況」が見られ、取り組み方に見直しの必要性を感じます。児童に深刻な影響が出ていることが危惧されます。

【学校と家庭の連携・児童の指導について】

※児童・保護者アンケートより

アンケート項目	H29	H30	R1	R2	R3
㊦13学校であったことを家庭で話している。	89.7	88.3	87.2	85.3	83.9
㊦13A子どもは学校のことをお家でよく話してくれる。					83.0
㊦13B学校は情報発信や家庭との連携に努めている。	95.5	94.3	95.3	95.8	94.8
㊦15先生や友だちの注意をすなおに聞いている。	97.1	94.5	95.4	92.8	96.5
㊦15学校は子どもの間違っただ行動をきちんと指導している。	97.6	97.8	94.8	95.5	95.1

○学校での出来事を話す機会が年々低下しています。子どもたちの頑張りを家庭での話題として増やしていただけたらと思ひます。制限にご理解をいただきながら学校行事や参観日等を行い、学年・学校だより、HP、連絡帳等 情報発信も継続していきます。生活指導にもご理解を得て、相手の気持ちを考えた思いやりある言動が意識できるよう、自立心を育てていきたいと思ひます。

【保護者からの声】

【子どもたちが成長したと感じられる点】

・少しずつ、学校生活にも慣れ自分でも準備、片付けができるようになってきました。今後も、生活面において自発的に行動できるよう、学校とも報連相を取れば嬉しいです。・コロナもあり、マスクや手洗いの習慣がみんなよく身につけていました。・早寝、早起きができるようになってきた。・学校の事をよく話し、家庭学習も進んで取り組んでいます。・輝きノートを毎日書く事によって友達の良い所を見る癖が付き、友達にも優しく接する事が出来るようになると思うので とても良い取り組みだと感心しています。・学習には前向きに取り組んでいる。・マイスタ学習が、苦手なところを親と一緒に復習できて良いです。・なかなか宿題をゆっくり見てあげられていませんが、本人は学校でしっかりしているようで安心しています。・自宅についたら、すぐ宿題をする習慣がついたように思う。・算数については少し苦勞しているようであるが、一生懸命している。・1年生の頃から帰宅→宿題→翌日の用意の流れが習慣づいているように思います。・マイスタノートの内容を早めに1週間分考えたりして、出来るだけスムーズに宿題に取り組もうとしていていると思います。

【子どもたちの家庭や学校生活の様子について日頃感じていること】

・宿題をするだけになってしまっているので、読書などもできるようにしていきたいです。・自主学習ノートの内容など、他のお友だちの内容を見て初めて、我が子のやり方は少し違うな…と思われました。時々そういう内容が知れる機会があるといいな、と思いました。・行事が少なくなったため、学校の様子がよく分かりませんが、毎日楽しく学校に行っています。・漢字が苦手なので、おの検定を実施してくださるので、再確認ができ助かっています。・Chromebookが学校生活の中で「当たり前の存在」になってきていることは、とても良い事と感じている。今後も積極的に活用して欲しいです。・家庭での学習時間がとても短く、不安に思う。・なかなか家庭でフォローができていないが、子ども自身は楽しんで勉強できているようでありがたい。

本年度の保護者アンケートの回収率は97%でした。ご意見もたくさん書いていただき、本校教育への期待と関心の高さを感じております。ご協力ありがとうございました。

「たくさんお子さんがいる中、丁寧にみていただき、満足しています。」「わからないことを友達や先生に聞きやすい環境だと思う。宿題も適度な量で、親も目が届きやすい。」など一定の評価をいただいています。大変ありがたいことです。中には、厳しい言葉もいただいています。真摯に受け止め、今後の教育活動に生かして参ります。

「情報機器の使用について」は、市場小学校の課題の一つとして受け止めています。GIGAスクール構想のもと、情報機器の使用についての正しい理解に取り組んでいきたいと思えます。「家庭学習」に関しては、児童は93.6%が進んで取り組んでいるのに対し、保護者は77.7%となっています。家庭学習の大切さや内容の検討など見直していく必要もあります。これからも課題を共有し、相互に連携を密にしながら子どもたちの成長を支えられるよう、今後とも地道な改善を重ね努力していきますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。